

イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究

基本情報

- ・ 資金制度・研究費名：日本学術振興会科学研究費・基盤研究(A)
- ・ 研究代表者：長沢栄治（東京大学）
- ・ 研究期間：平成28年度～31年度（4年間）

本プロジェクトでは、イスラームにとってのジェンダー的公正とは何かという問いを軸に、文化・政治・開発などの諸側面に関する学際的研究を行っています。その際、

- (1) 従来、個別に行われてきたイスラーム関連地域のジェンダー研究をまとめ上げ、
- (2) かつ広範囲の研究領域にジェンダー視点の導入を促進することで、
- (3) イスラーム・ジェンダー学という新しい研究分野の構築に向けた基礎固めを目的としています。

具体的には、全体集会や国際ワークショップ、公募によるグループ研究会を随時開催し、研究者の交流や研究の促進をはかっているほか、教育や家族といった身近なテーマによる公開セミナー、シンポジウム、学生向けの体験型の企画の実施などを通して、知の社会還元とジェンダー的公正に向けた提言を行っています。

イスラーム・
ジェンダー学の
構築に向けて
長沢栄治 編



公募研究会(2018年度)

- ① 「砂漠の探究者」を探して一女性たちと100年
- ② 開発とトランスナショナルな社会運動
- ③ イスラーム・中東における家族・親族の再考
- ④ フィールドから語るイスラーム、ジェンダー、セクシュアリティ
- ⑤ イスラーム圏における「ジェンダー化された暴力／苦悩」
- ⑥ 国際ジェンダー規範とイスラーム
- ⑦ イスラーム家族・女性関連法の運用実態

全体集会やワークショップ、セミナー、研究会はどなたでもご参加いただけます。
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ：islam_gender@ioc.u-tokyo.ac.jp

今後のイベントなど、詳しくはウェブサイトをご覧ください。

www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~nagasawa/

